

全国醤油工業協同組合連合会

(Japan Federation of Soy Sauce Manufacturers Cooperatives)



団体の概要

概要及び設立時期

全国醤油工業協同組合連合会は、中小企業等協同組合法に基づき、昭和37年に設立。

目的

会員及びその組合員の相互扶助の精神に基づき、必要な共同事業を行い、もって自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図るため、

- ① 醤油及び原材料の共同購入・生産・購買・保管・運送並びに斡旋に関する事業
- ② 醤油及び醤油加工品の市場開拓
- ③ 経営及び技術の改善向上、知識の普及を図るための教育及び情報の提供等を実施する。

代表者

代表理事会長 正田隆

会員

各都道府県 醤油業を営む事業者で組織された46協同組合と、2 協同組合連合会の**全48会員**※。会員傘下には、約1,100社が所属。

※令和5年11月30日時点

主な取組

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- ・ 米国、欧州（フランス、英国、ドイツ等）における市場概況、消費動向等を調査

海外におけるジャパブランドの確立に向けた取組

- ・ 英語、フランス語、ドイツ語等の多言語による販促資材の作成

海外等における販路開拓活動

- ・ 傘下の事業者を取りまとめて、SIAL Paris（フランス・ヨーロッパ最大級の食品見本市）、Winter Fancy Food Show（米国・西海岸最大級の総合高級食品見本市）に出展



日本産の独自性、特徴をPRする動画の作成、SNS等での発信



SIAL Paris（フランス・パリ）に出展した時の様子（令和4年10月）



Winter Fancy Food Show（米国・ラスベガス）に出展した時の様子（令和5年1月）

（全国醤油工業協同組合連合会からの聞き取り等を基に農林水産省が作成）